



横浜市立一本松小学校

1月号

学校だより

令和4年1月7日
横浜市立一本松小学校
校長 高桑 透

今、子どもたちに求められること

校長 高桑 透

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

新しい年を迎えるにあたり、昨年最後の朝会で、子どもたちには楽しみなことを書き出してみるように話しました。いったいどんなことが楽しみと書いたのでしょうか。その楽しみにしていることの中に、学校生活でのことが書かれているとうれしいです。年が明けてから感染症の広がりがあり、心配な状況になりつつありますが、子どもたちの安全・安心を第一に、さらに充実した年にしたいと思います。

年末に、令和3年度全国体力テストの結果がスポーツ庁より公表されました。全国の小学5年生と中学2年生を対象とする体力や運動能力についての調査結果は、令和元年度に比べ、小中男女ともに体力合計点が低下していて、特に男子は調査開始の平成20年開始以来、最低点でした。

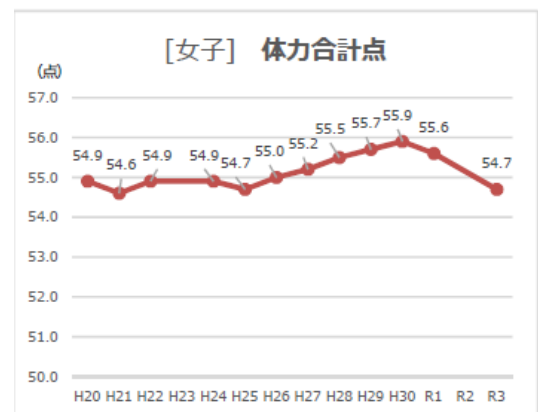
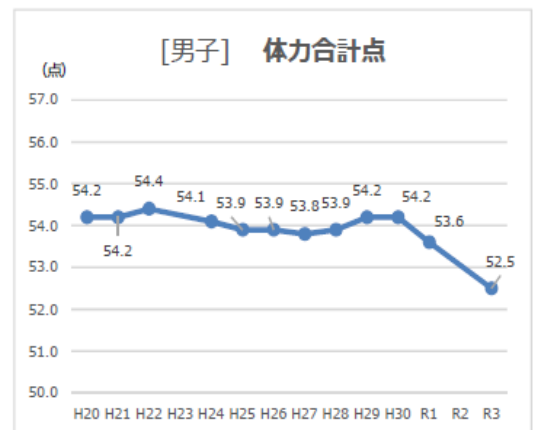
低下の主な要因としては、新型コロナウイルス感染の影響を受け、運動時間の減少やスクリーンタイム（平日1日当たりのテレビ、スマートフォン、ゲーム機等による映像の視聴時間）の増加などが挙げられています。また、学校の活動が制限されたことで、体育の授業以外での体力向上の取組が減少したことも考えられるとありました。

本校でも、以前行っていたマラソン大会や長縄大会をはじめとする体力向上への取組は全て中止しています。学校生活の変容がそのまま結果に表れていることがよくわかります。

人にとって体力はとても大切です。体力が充実していると、気力・精神力も充実します。気力が充実すると、物事に対して前向きに頑張ろうという気持ちになります。つらいことや苦しいことがあっても乗り越えるエネルギーにもなると思います。いろいろなストレスがある社会、変化の激しい社会を生きていくためには、体力をしっかりとつけることが必要です。

まだまだ、以前のような学校生活にもどれるという見通しはありません。そんな中でも、子どもたちが体力向上に取り組めるような工夫をしていくことが大切です。そして、体力向上が気力・精神力の充実につながり、何事にも積極的に取り組むことができる、生き生きと学校生活を送ることができることにもつながっていきます。外に出ることがためられる寒いこの時期こそ、体力向上のチャンスです。残り3か月、進級、進学に向けて、エネルギーを蓄えたいと思います。

(小学生)



スポーツ庁 HP より